

2021年度草の根活動支援事業「社会的困難者を支えるローカルアクション」内定団体一覧

事業名	団体名	所在地	事業概要	助成額 (円)	内訳 (円)	選定理由
1 役割と支え合いのある場づくりプロジェクト	NPO法人書里	滋賀県東近江市	難病を患えると、それまでできていたことができなくなったり、できにくくなったりすることが多い。そして、周りの人たちがサポートを受けて生活する場面が増えてくる。それはやむを得ない部分もあるのだが、「できない自分」「役に立っていない自分」を感じるが増えてくると、生きる意欲が低下することにもつながる。また、症状が重症化してくると、就労することが困難になり、家庭生活に大きな影響を及ぼしたり、地域社会から孤立してしまうこともある。物理的にも精神的にもバリアのない施設を作り、人と人の繋がりを生み、多様な関係性の中で無難な自分の「できること」や「やりがい」を見出し定着しやすくなるような場を創設したい。それは、従来の障害福祉施設というイメージではなく、地域のコミュニティの中で、難病の人たちが「やりがい」や「役割」が見いだせる場になればと考える。また障害者手帳を持たない難病者が受けることのできる公的サービスは極めて限られている。制度では対応できない「日常の困りごと」に対して、地域の資源や住民の皆さんの力も借りながら「支え合い」をコーディネートできる仕組みを作る。	21,000,000	<直接事業費> 19,840,000 <管理的経費> 160,000 <評価関連経費> 1,000,000	就労支援B型事業をベースに取組実績があり、難病応援センターや送迎車を持つことで、制度だけでは支えられない生活に困難を抱える難病者となつたり、支援の輪を地域につなげる取組は、大変意義深く、他地域の方々へも貢献できるものであるため採択とします。
2 障がいを抱える子ども達が安心してスポーツを楽しむ社会に	東近江FCレジリエンス	滋賀県東近江市	【チーム活動の安定と継続】スタッフへの給与、新しいスタッフの募集、スタッフが専門知識を学ぶための経済的なサポートなど、チームの活動が安定して継続する環境作り 【新しい体験活動】障がいを抱える子ども達に、サッカー以外の多様な体験を提供する(例えば、キャンプ、保護者のもとを離れて子ども達だけの日帰り旅行など)	4,295,000	<直接事業費> 3,620,000 <管理的経費> 480,000 <評価関連経費> 195,000	代表者のこれまでの活動を基盤に、障がい児スポーツへの理解を深め、障がい児を抱える子ども達が安心してスポーツを楽しむようにする取組は評価でき、地域への波及効果も大きいことから採択とします。
3 子どもを軸に多様な価値観と出会う公共空間	一般社団法人ぐるり	滋賀県東近江市	対象とする子育て中の家族は、核家族や共働きがあたりまえの状況で、家族以外の人と家事や子育てを共有する機会が少ない。また、家庭内のケアは母親が担うものと、当事者もまわりも認識しているケースが多い中、そのストレスは家族内で抱え込まれている。 そこで、東近江市内で子育て中の家族を対象に、駅前中心市街地にある大型商業施設の中で、子育て世代向けついでに広場、シェアキッチンやコミュニティカフェ、個人の鞆い物や小さな教室のできる作業スペースなどを兼ね備えた公共空間(パブリックスペース)を整備する。日々の暮らしの延長でこの場所に来てもらえるよう工夫を凝らし、夕飯の下ごしらえや、子どもを遊ばせながら他の人とコミュニケーションができるなど、つながりの生まれる場としていく。 これらにより、自然と学び合いや助け合いなど、居合わせた人同士が関わり始め、日常的に世代を超えた交流が生まれる中で、パラダイムシフトが起こり「あたりまえの普通」がある地域となっていくことを目的とする。	18,690,000	<直接事業費> 14,560,000 <管理的経費> 3,240,000 <評価関連経費> 890,000	これまで取組を徐々に拡大してきた実績があり、拠点を駅前商業施設のコミュニティを教養のゾーンに設けし拡張して、子育てを地域の総動員とする取組は、子育てのパラダイムシフトの実装であり他地域にも波及効果が大きく採択とします。
4 産み方・生き方を変える活動を広めよう!	お産&子育てを支える会	滋賀県東近江市	県下では医療機関での出産がほとんどであるにも関わらず、産科医の減少や公立病院の産科閉鎖がこれから加速することで、妊産婦を受け入れる機関が激減している。産み場所が減少していく中、リスクがなく、自然なお産を望む女性を受け入れられる地域の開業助産師や助産所の存在はあまり知られていない現状がある。また、産前産後の母親とその家族を、継続的に支援できる地域の開業助産師の数は減少し、後継者不足も問題となっている。さらに、出産後の母親と家族の多くは、気軽に相談できる地域の開業助産師の存在を十分に知らないまま、不安の中で育児をしている状況で、産後早期に医療機関と地域の開業助産師が連携できるシステムがないため、切れ目だけの支援体制になっている。このような状況の中、東近江市を中心とした近隣の地域で、産前産後の女性とその家族がそれぞれの地域の助産師の存在を知り、繋がることができると不安なく育児をしていくことを目的とする。そのため、地域の助産師の存在を広め、必要な時に支援が得られるシステムを作り、それを担える助産師を育成する。	10,450,000	<直接事業費> 9,230,000 <管理的経費> 770,000 <評価関連経費> 450,000	共同助産所を拠点に、助産師・助産所の意義・存在の普及、開業助産師の育成、医療機関との連携強化を行い、産前産後の母親を支援する取組は、大変意義深く、県内にも波及効果が大きく採択とします。
5 多様な人文化、想いがつながるまちづくり	特定非営利活動法人まちづくりネット東近江	滋賀県東近江市	◎外国籍の人が暮らしやすい地域をつくる事業 ・これまでの日本語教室と並行して、企業向けの日本語教室の開催を行う。ボランティア講師も新たに募集をし、出張の日本語教室を行う。 ・外国籍の子どものための学習支援の場をつくる。 ◎外国籍の人と日本人をつくる事業 ・翻訳ツールの貸出及び活用普及 ・日本人向けにやさしい日本語教室を行い、誰でもわかりやすい「やさしい日本語」の普及を行う。 ・相互理解を深める場として、ラチーノ学園と日本の保幼小中高との交流の機会をつくる。 ・互いの文化を知ることができるよう、サロンやフェスタなどを開催。 ◎市内の様々な事業所・公共機関・企業と連携し多文化共生のまちづくりを考える協議体を創る。 ・地域の様々な機関と連携し、外国人と日本人が相互に伝達し合える仕組みの構築を検討し、試行する。	8,505,000	<直接事業費> 7,245,000 <管理的経費> 855,000 <評価関連経費> 405,000	これまでの取組をきっかけに、関係団体と連携し徐々に多文化共生の取組を拡大してきた実績があり、多文化共生を推進するためのやさしい日本語教室、サロン、フェスタの継続と、外国籍の人に情報が伝わりやすい仕組みや協議体づくりは、外国籍人口が多い当地域にとって重要であることから採択とします。